

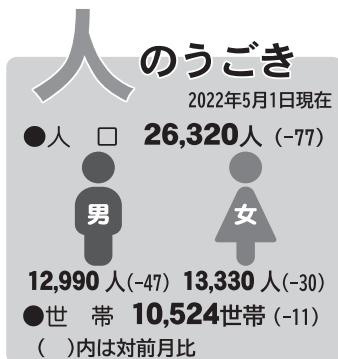
戸籍の窓

令和4年4月1日～30日 受付分

(敬称略)

宮代	矢野	心望	お誕生
東神田	黒木	美佑	おめでとうございます
表佐	高木	幸都	おめでとうございます
宮代	川人	一伽	おめでとうございます
栗原	兒玉	純洋昌	おめでとうございます
宮代	川人	幸都	おめでとうございます
表佐	高木	幸都	おめでとうございます
宮代	川人	一伽	おめでとうございます
表佐	高木	幸都	おめでとうございます
宮代	西川	浩司	おめでとうございます
表佐	藤壇	博明	おめでとうございます
宮代	西川	浩司	おめでとうございます
表佐	藤壇	博明	おめでとうございます
宮代	西川	浩司	おめでとうございます
垂井	堀江	明夫	謹んで
垂井	堀江	明夫	おくやみ申し上げます
垂井	堀江	明夫	おくやみ申し上げます
垂井	市川	みえ子	おくやみ申し上げます
垂井	市川	みえ子	おくやみ申し上げます
垂井	市川	みえ子	おくやみ申し上げます
垂井	磯野	忠道	おくやみ申し上げます
垂井	磯野	忠道	おくやみ申し上げます
垂井	森口	勇	おくやみ申し上げます
垂井	森口	勇	おくやみ申し上げます

垂井	垂井	府中	府中	宮代	伊吹	府中	表佐	垂井	綾戸	大滝	表佐	宮代	垂井	垂井
吉井	吉井	松野	岡田	小林	高木	竹嶋	高木	木村	山田	佐部利	藤壇	丹羽	堀江	磯野
清彦	清彦	義雄	信治	喜久子	しげ乃	孝男	孝仁	邦夫	由美子	梅の	博明	芳子	明夫	忠道
(100)	(74)	(81)	(69)	(93)	(93)	(92)	(81)	(84)	(80)	(96)	(85)	(88)	(72)	(99)
(104)	(100)	(104)	(104)	(104)	(104)	(104)	(104)	(104)	(104)	(104)	(104)	(104)	(104)	(104)



緑蔭に藤椅子二脚整へり	柿若葉厨の窓を明るくす	山寺の石の露台や初夏の影	梅千の今年が最後か母の味	靴ひもをしかと結んで夏野球	山車を曳くあばれ漢の下駄割れて	雨傘を日傘に嬉々と梅雨晴間	外出を控える日々の菊芽さす	泥足袋の小鉤はずして三尺寝	青田波伊吹の風に逆らはず	全身で笑ふ少女や百合の花	東神田	表佐	宮代	垂井
千年の回廊を踏む素足かな	池の辺に刺を隠して夏薔薇	山車芸児女形の顔は母に似て	柿若葉厨の窓を明るくす	存分に鳴くきりぎりす籠の中	柿若葉厨の窓を明るくす	雨の中彩を深めて花あやめ	萬綠や我か町海の風知らず	一葉つけ吹かるるままに蜘蛛の糸	雨の中彩を深めて花あやめ	萬綠や我か町海の風知らず	栗原	宮代	表佐	垂井
大正11年4月7日生(100)	気配りも届かぬものや梅雨じめり	山車芸児女形の顔は母に似て	柿若葉厨の窓を明るくす	池の辺に刺を隠して夏薔薇	柿若葉厨の窓を明るくす	萬綠や我か町海の風知らず	一葉つけ吹かるるままに蜘蛛の糸	千年の回廊を踏む素足かな	萬綠や我か町海の風知らず	一葉つけ吹かるるままに蜘蛛の糸	栗原	宮代	表佐	垂井
大正7年4月29日生(104)	雨の中彩を深めて花あやめ	山車芸児女形の顔は母に似て	柿若葉厨の窓を明るくす	池の辺に刺を隠して夏薔薇	柿若葉厨の窓を明るくす	萬綠や我か町海の風知らず	一葉つけ吹かるるままに蜘蛛の糸	千年の回廊を踏む素足かな	萬綠や我か町海の風知らず	一葉つけ吹かるるままに蜘蛛の糸	栗原	宮代	表佐	垂井
東 中谷 貞子	府 中 浅野 志ずを	府 中 信清	府 中 高木	宮代 竹嶋	伊吹 高木	府中 高木	表佐 高木	垂井 木村	綾戸 山田	大滝 佐部利	表佐	宮代	垂井	垂井
西田 厚堂	岩田 妙子	粟野 美恵子	三和 光子	柏 美恵子	清水 るり	松岡 由尚	熊崎 久仁子	小畠 美智子	内海 白涛	高木 富美子	表佐	宮代	垂井	垂井

垂井文芸（俳句）

「垂井町は、俳句のユネスコ無形文化遺産登録を目指しています」